

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	習熟度別	共通	2

教科書（発行所）	Grove English Communication Ⅱ（文英堂）				
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社）	2 単語帳：システム英単語（駿台文庫）	3 EARTHRISE 総合英語（数研出版）		

学習の到達目標		従来の4技能（聞く・読む・話す・書く）の区分が見直されて、「話す」が「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」に分けられ、さらに「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。			
	学期	学習内容	具体的な活動	考查等	
学習計画	1学期	Lesson 1: Breakfast Around the World SV, SVC, SVO, SVOO, SVOC, 動名詞の復習 Lesson 2: What Makes You a Good Street Dancer? 完了形, 進行形, 完了進行形	・世界の国々の朝食について読んで理解し、自分自身の経験や考えを表現する。 ・street dance の特徴について読んで理解し、e-スポーツについて情報や自分自身の考えを伝える。	課題考查 中間考查 L.1～L.2	
		Lesson 3: Small Actions Can Be Powerful 助動詞, 助動詞＋完了形, to 不定詞の用法 Lesson 4: Zoos — Roles and Challenge 受け身, SVOO, SVOC の受け身, 進行形受け身形	・ボランティア活動と音楽(ロックコープス)を結びつける試みとその発展について理解する。 ・動物園の役割や活動について知り、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養う。	期末考查 L.3～L.4	
		Lesson 5: Paper Change the Future 分詞の形容詞的用法, SVOO, SVC + that 節 Lesson 6: Our Advanced Network Society SVC + to 不定詞, +分詞, +原形不定詞など	・紙について、その歴史や環境問題との関係など、幅広い知識と教養を身につけて環境改善につなげる。 ・ネットワーク社会の危険性や技術革新で拓かれる未来について考え、真理を求める態度を養う。	課題考查 中間考查 L.5～L.6	
	2学期	Lesson 7: Connecting with People as ～ as, not as ～ as, 関係代名詞の非制限用法 Lesson 8: Practice Makes Perfect: A Japanese Baker's World Victory 関係副詞, 分詞構文, 関係副詞の非制限用法 Lesson 9: The World Without Honeybees 仮定法(過去・過去完了), if のない仮定法	・人とつながることの効果や意味について読み、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養う。 ・あるパン職人が成し遂げた努力と結果について読み、勤労を重んじる態度を養う。 ・身近な昆虫の1種であるミツバチが人間の生活にどう関係しているか、自然を大切に、環境保全に寄与する態度を身につける。	期末考查 L.7～L.9	
		Lesson 10: The Forth Bridge: An Iconic Landmark in Scotland. 倒置, 省略, 同格の that, 付帯状況の with FOR READING 2: Rickshaw Girl by Mitali Perkins 既習文法の総復習	・スコットランドのフォース橋について知り、他国を尊重し、国際平和の発展に寄与する、支援しようとする態度を養う。 ・家族を思い、思い切った行動に出た少女の姿を通して、正義と責任、男女の平等を重んずる精神を養う。	課題考查 学年末考查 L.10～ FOR READING 2	
	3学期				
備考	1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。2 日本語と英語の音の違いを学び、音読を積極的に取り入れる。 3 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。 4 授業中は説明を集中して聞き、メモを取り、下線を引く習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、丁寧にまとめる。 5 予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。				

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。
評価の方法	上記の観点に基づいて学習のまとめりとともに A, B, C で評価し、学年末に 5 段階評価の評定にまとめる。 【評価対象】(a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) インタビューテスト・発表（スピーチ・プレゼンテーション）・ディベート等 (c) ノート・ワーク・レポート等の提出物 (d) 小テスト・定期考査等のペーパーテスト 【評価結果】A (3): 十分満足できる状況 B (2): おおむね満足できる状況 C (1): 努力を要する状況		